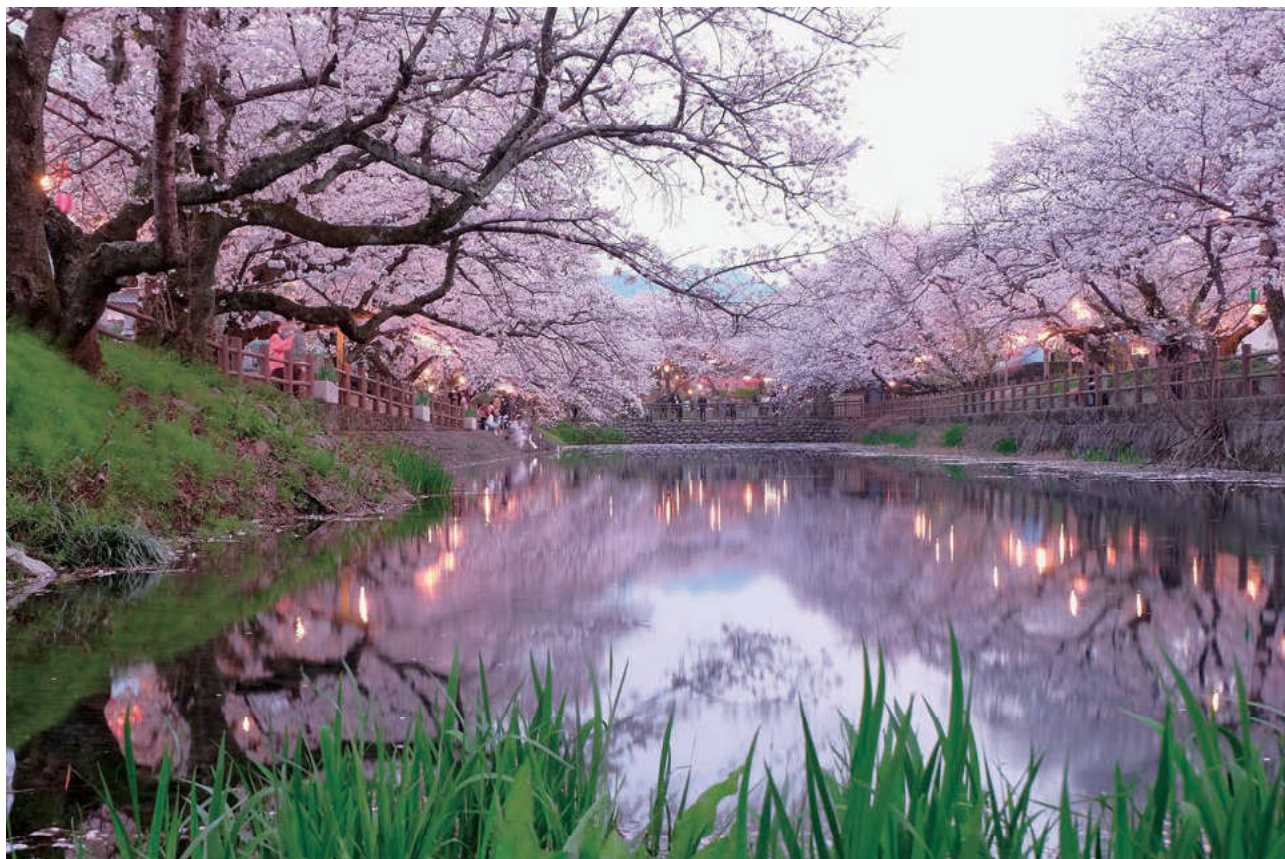


えひめ 土地改良だより

2025.4
Vol.534



みどり
水土里ネット 愛媛
(愛媛県土地改良事業団体連合会)



桜色に染まる池（西条市石田）

CONTENTS

ご挨拶

就任のご挨拶

愛媛県農林水産部農業振興局農地整備課 課長 臼坂 浩二 …… 1

予算情報

愛媛県の令和7年度当初予算の概要 …… 2

トピックス

愛媛県土地改良事業団体連合会第67回通常総会を開催 …… 4

愛媛県土地改良事業団体連合会代表監事の就任について …… 5

全国水土里ネット第67回通常総会及び

全国水土里ネット表彰式開催 …… 6

令和6年度多面的機能発揮促進事業 中国四国農政局長表彰

優秀賞を『全所資源保全班』（西予市）が受賞 …… 6

農業農村整備に関する予算説明会・意見交換会の開催 …… 7

取組事業の紹介

石川県能登町に係る中長期派遣を終えて

八幡浜支局農村整備二課 丸山 晃一 …… 8

能登半島地震災害派遣を経験して（石川県能登町農林水産課）

南予地方局農村整備課 政木 勇人 …… 9

能登半島地震に係る中長期派遣を終えて

南予地方局農村整備課 菊地 雅浩 …… 10

池田池の耐震対策について 一農村地域防災減災事業 池田地区一

愛媛県東予地方局農村整備課 …… 12

Rs パネルを利用した張コンクリートの施工について

一般農道整備事業 「歌仙3期地区」

東予地方局今治支局農村整備課 …… 13

新事業制度の紹介

農村地域住民活動意見交換会

～農村型地域運営組織（農村 RMO）～の開催 …… 15

地方の声

多面的機能支払交付金 活動事例紹介

～新たな活動にチャレンジする組織～ …… 16

職員紹介

愛媛県土地改良事業団体連合会人事異動 …… 17

愛媛県農林水産部農地整備課関係人事異動（係長以上） …… 17

お知らせ

ため池を管理されている方へ …… 7

土地改良施設維持・管理事業賠償責任保険のご案内

（施設賠償責任保険） …… 18

あなたの園地を災害に強い園地に整備しませんか …… 19

ため池遠隔監視システムの運用開始について …… 21

「愛媛のたなだん」フォトコンテスト2024入賞作品決定！ …… 22



就任のご挨拶

愛媛県農林水産部農業振興局
農地整備課

課長 白坂 浩二

陽春の候、皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

この度、4月1日付けで農林水産部農業振興局農地整備課長を拝命いたしました。もとより微力ではございますが、本県の農業・農村の振興に全力で取り組む所存です。

さて、国では、昨年6月に改正された食料・農業・農村基本法に基づき、本年4月に新たな食料・農業・農村基本計画が閣議決定され、農業農村整備関係では、農業生産基盤の整備・保全として、スマート農業や国内需要等を踏まえた生産に対応する農地の大区画化、水田の汎用化・畑地化、畑地整備、草刈り・水管理等の管理作業の省力化に資する整備や、農業水利施設の戦略的な保全管理、防災重点農業用ため池の防災工事等、農業・農村の強靱化に向けた防災・減災対策を推進することとされています。

また、本年4月に施行された改正土地改良法では、地域の農業水利施設等の保全に関する「連携管理保全計画（通称：水土里ビジョン）」の作成等について定められるとともに、新たな土地改良長期計画の策定に向けた検討も進められているところです。

このような中、県としましては、県総合計画ならびに「えひめ農林水産業振興プラン2021」に基づき、「西日本豪雨災害で甚大な被害を受けた柑橘園地の復旧・復興」を最優先に、喫緊の課題である「農業従事者の減少・高齢化」や「頻発・激甚化する自然災害」に対処するため、「担い手対策」と「防災・減災対策」に重点を置いて、各種農業農村整備を推進してまいります。

「柑橘園地の復旧・復興」では、県下4地区において「再編復旧」の工事が本格化しており、今春には、すべての地区で植栽が行われました。県としましては、引き続き関係農家や市町、関係機関の皆様とともに一日も早い完全復興に全力で取り組んでまいります。

次に「担い手対策」では、担い手の規模拡大・所得向上を後押しするため、市町、土地改良区、JA、農地中間管理機構等と連携を密にしながら、農地の集積・集約化、営農の省力化・生産コストの削減のほか、スマート農業の実装やほ場周りの管理作業の省力化等に資する水田のほ場整備、樹園地の再編整備を推進してまいります。また、安価で即効性の高い新たな小規模園地整備手法の導入拡大や、スプリンクラー施設とICTを融合した高度な用水管理システムの開発など、「柑橘王国えひめを支える基盤づくり」に取り組んでまいります。

また、「防災・減災対策」では、令和2年10月に施行された「ため池工事特措法」に基づく防災重点ため池の集中的かつ計画的な防災工事等の推進に加えて、令和3年4月に開設した「ため池保全サポートセンター」との連携や、令和7年度から県下13か所で運用を開始する「ため池遠隔監視システム」の導入促進等による管理・監視体制の強化など、ハード・ソフトの両面から、農業・農村の安全性の向上対策に取り組んでまいります。

本県の農業・農村を取り巻く情勢は、少子高齢化に加え、物価高騰や気候変動など、厳しい状況が続いていますが、今後も愛顔あふれるえひめ農業・農村の実現に向け、オール愛媛で挑戦してまいります。

結びにあたり、皆様のご健勝と更なるご活躍を心からお祈り申し上げ、就任の挨拶に代えさせていただきます。

愛媛県の令和7年度当初予算の概要

令和7年度当初予算では、急速に進む少子化・人口減少はもとより、テクノロジーの進化、頻発化・激甚化する自然災害、予測困難な国際情勢など変化の激しい時代の流れを的確に捉え、複雑化・多様化する県政課題を先送りすることなく、積極的に政策を展開していく。

また、「新ステージ」の公約に掲げた西日本豪雨災害からの復興と防災・減災対策、人口減少対策、地域経済の活性化の政策三本柱と、デジタル技術の活用など新たな基軸を具体化した総合計画の目標達成に向け、種をまき、ステップアップを図ってきた「新ステージ」の政策をさらに一步前進させ、確かな戦略のもと、地方創生の先頭を走る気概を持って、本県の未来の成長を実現していくための政策に重点的に取り組む予算を編成している。

◆県一般会計予算額：7,541.5億円（前年度当初 7,283.0億円、前年度比 +3.5%）

このうち、農地整備課関係では、「西日本豪雨災害で甚大な被害を受けたかんきつ園地の復旧・復興」を最優先に、喫緊の課題である「深刻な農業従事者の減少・高齢化」や「頻発・激甚化する自然災害」に対応するため、「担い手対策」と「防災・減災対策」に重点を置いて各種農業農村整備事業を展開し、愛顔あふれるえひめ農業・農村の持続的な発展と次世代への継承を目指す。

◆農地整備課関係公共事業費：67.7億円（前年度当初 66.1億円、前年度比 +2.4%）

1 柑橘園地の創造的復興（518,700千円）

- 農地再編復旧整備事業費

（ 崩落した園地について、周辺の被災していない園地も含めて大規模にほ場整備を行う「再編復旧」により、災害に強く生産性の高い園地を創造する。 ）

2 農業農村を支える担い手対策（2,142,716千円）

- 農道整備事業費、担い手育成基盤整備事業費、小規模農業基盤整備事業費 等

（ 意欲ある担い手の規模拡大や所得向上につながる生産基盤の整備を推進し、産地の生産力を強化する。 ）

3 農業農村の防災・減災対策（1,881,992千円）

- ため池防災・減災対策事業費 等

（ 決壊時の影響が大きい防災重点ため池を中心に、ハード・ソフトの両面から、計画的かつ効果的な防災減災対策を推進し、農業農村の防災機能を強化する。 ）

4 農地・農業水利施設の適切な保全管理、中山間地域の振興等（2,229,394千円）

- かんがい排水事業費、農村総合整備事業費、農業集落排水事業費 等

（ 農業生産活動に不可欠な農地・農業水利施設の保全に加え、担い手の負担軽減や産地の防災機能の強化につながる取り組みを推進する。 ）

その他予算として、国の日本型直接支払制度を活用し、地域の共同活動を支援する。

◆日本型直接支払制度関係予算：20.1億円（前年度当初 20.0億円、前年度比 +0.3%）

- 中山間地域等直接支払交付金事業費、農村環境保全向上活動支援事業費

令和7年度 当初予算公共事業費（農地整備課）

（単位：千円）

予算事項名	R 6 当初予算	R 7 当初予算	
	予算額（A）	予算額（B）	対前年比 （B） / （A）
かんがい排水事業費	2,061,892	1,844,799	89%
農道整備事業費	448,325	435,312	97%
担い手育成基盤整備事業費	1,335,314	1,509,828	113%
農地再編復旧整備事業費	404,754	518,700	128%
農村総合整備事業費	262,950	286,640	109%
農業集落排水事業費	39,000	53,625	138%
小規模農業基盤整備事業費	35,950	137,576	383%
国営造成施設等管理強化事業費	40,369	44,330	110%
国営緊急農地再編整備事業換地受託費	53,000	60,000	113%
土地改良費計	4,681,554	4,890,810	104%
海岸保全施設整備事業費	551,250	377,790	69%
地すべり対策事業費	89,775	177,922	198%
ため池防災・減災対策事業費	1,185,839	1,171,480	99%
農業水利施設防災対策事業費	77,257	117,600	152%
ため池管理保全推進事業費	26,200	37,200	142%
農地防災事業費計	1,930,321	1,881,992	97%
公共事業費 計	6,611,875	6,772,802	102%



愛媛県土地改良事業団体連合会第67回通常総会を開催



去る2月26日(水)、松山市南堀端町のリジェール松山において、菅規行愛媛県副知事、田中晋太郎中国四国農政局次長をはじめとする来賓の方々を迎え、愛媛県土地改良事業団体連合会第67回通常総会が開催された。

総会では、篠原実会長の開会挨拶の後、多年にわたり土地改良事業に多大な功績のあった団体、個人に対し知事並びに会長より、表彰状が贈られた。

続いて、東温市南野田土地改良区東村雅則理事長が議長に選任され議事に入り、令和5年度事業報告及び一般会計・特別会計歳入歳出決算並びに財産目録をはじめ全8議案が原案どおり可決された。

役員の補欠選任では、高橋敏明西条市長、中村維伯愛南町長が理事に、大内建作伊予郡砥部町土地改良区理事長が監事に選任された。

最後に、小崎勝次専務理事が、農業農村整備事業の計画的な推進のため、必要な予算の安定的な確保など6項目の決議を力強く朗読し、満場の拍手により採択され閉会した。

〈土地改良功労者〉

【知事表彰】

- (個人) 福本 頼幸 (新居浜市)
- 江戸 貴幸 (松山市)
- 山本 力行 (宇和島市)
- (団体) 松山市福角町土地改良区

【会長表彰】

- (個人) 近藤美喜男 (新居浜市)
- 三木 伸 (西条市)
- 清水 潔 (松山市)
- 松下 信孝 (西予市)
- (団体) 金 章
- 伊方町土地改良区
- 銀 章
- 西条市下島山土地改良区
- 松山市久保田土地改良区
- 銅 章
- 新居浜市洪水土地改良区
- 松山市志津川町土地改良区



【議 事】

- 第1号議案 令和5年度事業報告及び一般会計・特別会計歳入歳出決算並びに財産目録について
- 第2号議案 令和6年度一般会計歳入歳出補正予算について
- 第3号議案 令和7年度事業計画について
- 第4号議案 令和7年度賦課基準並びに賦課金徴収について
- 第5号議案 令和7年度一般会計・特別会計歳入歳出予算について
- 第6号議案 令和7年度役員報酬について
- 第7号議案 借入金及び余裕金の預入先について
- 第8号議案 役員の補欠選任について

決 議

本県の農業・農村は、中山間地域を多く抱えながらも、先人たちのためまぬ努力と創意工夫により、食料の安定供給はもとより、洪水の防止、水源の涵養、自然環境の保全、伝統・文化の伝承など多面的な機能を発揮し、豊かな県土の発展に大きく貢献してきた。

しかしながら、本格的な人口減少社会の到来により、農業者の減少・高齢化や担い手不足が進み、営農の継続やそれを支える農地・農業用水の管理が困難になるほか、燃油や飼料等の価格高騰により農業経営が圧迫され、さらには世界的な食料情勢の急変により食料安全保障上のリスクが高まるなど、様々な課題に直面している。

このような中、食料安全保障の強化に向け、持続可能な力強い農業を実現するためには、水田の大区画化・汎用化や樹園地の再編整備のほか、農業水利施設の適時適切な保全対策等を着実に進めていくことが極めて重要である。

加えて、激甚化、頻発化する豪雨や近い将来発生が予測される南海トラフ地震に備え、老朽化が進むため池をはじめとする農業水利施設の豪雨対策や耐震化など、農村地域の防災・減災対策をさらに加速していく必要がある。

我々は、これらの対策に極めて有効な農業農村整備事業を強力に推進し、農業の成長産業化、農業・農村の強靱化、更には農村協働力の強化などによる農村の活性化を図るほか、これまで培ってきた経験と技術を活かし、農地・農業用水等の地域資源を良好な状態で次世代に継承していくため、次の事項の実現を国・県に強く要請する。

記

- 一、農業農村整備事業の計画的な推進のため、必要な予算を安定的に確保すること。
- 一、食料・農業・農村基本法の改正を踏まえ、土地改良法の改正や関連する支援制度の充実を図ること。
- 一、国産農産物の消費拡大を強力に推進するとともに、農地の集積・集約化やスマート農業を促進する水田の大区画化や樹園地の再編整備などの農業生産基盤整備を着実に推進し、農業の競争力を強化すること。
- 一、老朽化した農業水利施設等の更新・長寿命化や豪雨・地震対策をより一層加速すること。特に防災重点ため池を中心に、計画的かつ効果的な防災・減災対策を強力に推進すること。
- 一、農業・農村の有する多面的機能が今後とも適切に発揮されるよう、多面的機能支払制度による農地や水路、農道等の保全管理に係る共同活動等を推進すること。
- 一、小規模の土地改良区を重点とした統合整備を推進するとともに、地域ぐるみの保全管理体制の構築など土地改良区の運営基盤強化のための支援を拡充すること。

令和7年2月26日

愛媛県土地改良事業団体連合会
第六十七回 通常総会

愛媛県土地改良事業団体連合会代表監事の就任について

去る2月26日(水)を以て佐川秀紀代表監事が退任され、新たな代表監事を選任するため互選監事会を開催し、志波豊氏(城川町魚成土地改良区理事長)が代表監事に選任された。

任期は令和9年3月31日までとなります。

全国水土里ネット第67回通常総会及び 全国水土里ネット表彰式開催

去る3月26日(水)東京都千代田区平河町の全国都市会館において、全国土地改良事業団体連合会第67回通常総会が開催され、令和6年度一般会計収入支出補正予算をはじめ全11議案を審議し、全議案が全会一致で原案どおり可決承認された。

総会終了後、シェーンバッハ・サポーに会場を移し、全国水土里ネット表彰式が行われた。本県からは東温市志津川土地改良区、五十崎土地改良区の2団体、砂田虎善氏(今治市蒼社川土地改良区 理事長)が全国水土里ネット会長表彰を表彰された。

また、城川町魚成土地改良区が農業農村整備事業優良地区コンクールにおいて農林水産省農村振興局長表彰を受賞した。



東温市志津川土地改良区 泉忠厚理事長



表彰状の授与を受ける城川町魚成土地改良区 志波豊理事長



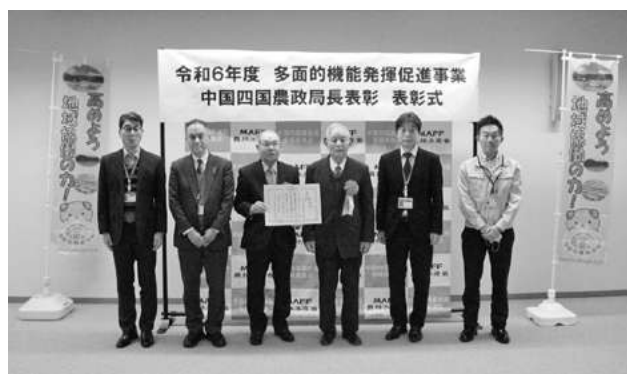
令和6年度多面的機能発揮促進事業 中国四国農政局長表彰 優秀賞を『空所資源保全班』(西予市)が受賞

去る2月13日(木)、西予市役所において、『令和6年度多面的機能発揮促進事業 中国四国農政局長表彰優秀賞の表彰式』が開催され、中国四国農政局愛媛県拠点 宮本地方参事官より空所資源保全班の片岡代表へ表彰状が授与されました。

空所資源保全班では、平成19年に設立し、農業従事者の高齢化が進み、新規就農者も少ない状況の中、たくさんの地域住民の協力を得ながら、農道の草刈りや水路の泥上げ、景観形成のための植栽及び外来種の駆除など、様々な取り組みを継続的に実施しています。

その中でも、特に力を入れているのが、地元小学校と連携し実施している農業体験学習で、

小学5年生を対象に、田植えや稲刈り、餅つきなど農作業を体験することで、農業の大切さや農村をとりまく自然環境の豊かさなどへの理解を深め、地域や農業への意識の向上に貢献するとともに、農業者と非農家が連携し、地域一体となって農村環境を維持管理する体制が構築されている点が高く評価されました。



農業農村整備に関する予算説明会・意見交換会の開催

令和7年2月12日、にぎたつ会館において農林水産省主催の「農業農村整備に関する予算説明会・意見交換会」が開催され、農林水産省からは、農村振興局水資源課の由谷施設保全管理室長ほか2名、中国四国農政局からは農村振興部設計課の青木課長ほか4名の計8名が出席された。

第1部の予算説明会では、土地改良区・市町・県等の担当者約80名に対して、農林水産省から令和7年度農業農村整備事業関係予算の概算決定の概要や、食料・農業・農村基本法の改正を踏まえた今後の農業農村整備の展開方向等について説明があった。

第2部の意見交換会では、愛媛県土地改良事業団体連合会をはじめ、土地改良区・市町・JA・県関係者ら約40名が参加し、地域における課題、それに対する農業農村整備事業の制度拡充の提案、今後の事業実施等に必要予算確保の要望等について、活発な意見交換が行われた。



第1部 予算説明会



第2部 意見交換会

お知らせ

～ため池を管理されている方へ～

ため池を保全管理するためのご相談を専門スタッフが承ります

毎週月～金曜日

※土日、祝日、年末年始（12月28日～1月3日）を除く
9:00～12:00 / 13:00～17:00

愛媛県ため池保全サポートセンター

〒790-0064

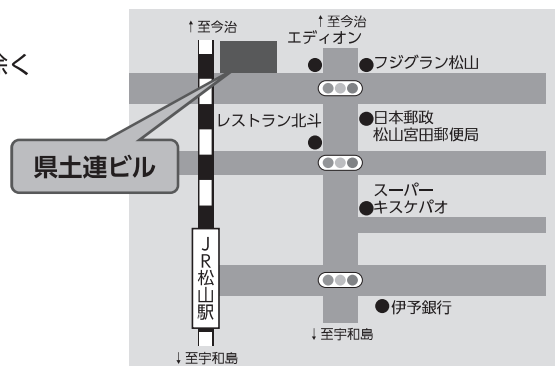
松山市愛光町1-24（県土連ビル）

愛媛県土地改良事業団体連合会

（水土里ネット愛媛）

TEL：089-927-7211 FAX：089-927-7001

E-mail：tameikehozen-sc@ehimedoren.or.jp



- ご相談の際には、ため池の「名称」「所在地」をお知らせください
- 相談にお越しの際は、あらかじめ電話で予約をお願いします
- ため池管理者以外の方は、お住まいの市町担当窓口へご相談ください

石川県能登町に係る中長期派遣を終えて

八幡浜支局農村整備二課 丸山 晃一

1. 能登町の被災状況について

能登町は、能登半島の北東部に位置し、農業としては稲作が主の町です。

現地の被災状況は、地震による田面の亀裂・段差及び畦畔の崩落が数多く点在しており、また、複数のため池においても亀裂・崩壊が発生していました。農道についても同様の被災がありましたが、一部については、生活や営農への支障を改善するため、査定前着工により応急対策工事を終えている状況でした。



拇谷内池の被災写真（令和6年11月15日撮影）

2. 派遣業務について

業務は、地震災害（1月1日発生）と豪雨災害（9月21日～22日発生）に係る現地調査及び、災害査定設計書の作成でした。

毎月の査定件数が100件程度と多く、また年内に災害査定を終える必要があったので、特に査定設計書の作成においては、大規模災害査定方針に基づき作成を行いました。平面図は国土地理院の航空写真を使用し、また、ブロック積工やフトンかご工などの一般的復旧工法は標準断面図を利用し、査定設計書の作成時間の短縮を図りながらの作業となりました。

また、能登町内には農業用ダムが複数あり、山口ダム（中心コア型ロックフィルダム：堤高27m、堤長110m、総貯水量40万 m^3 ）における査定設計書の作成を行いました。査定申請時は、対策工法を決定することが困難であるため、ボーリング調査・試験及び測量の実施、安定計算による対策工法の検討などの業務費の申請内容となりましたが、条件付き査定により、計画変更後（重要変更）による対策工事費の追加計上が可能となりました。

3. おわりに

査定設計書の作成は初めての経験でしたが、役場の方々や他県からの支援の方々とのチームワークにより、期間内に無事業務を遂行することができました。

最後になりますが、能登町における地震・豪雨災害からの早期復興を心よりお祈りしております。

能登半島地震災害派遣を経験して（石川県能登町農林水産課）

南予地方局農村整備課 政木 勇人

1. はじめに

令和6年7月～9月の3ヶ月間、能登半島地震の災害復旧事業支援のため、石川県能登町農林水産課に派遣されました。この3ヶ月間の経験について報告いたします。

2. 担当業務について

石川県能登町は、最大震度6強を観測し、農地や農業用施設が被災しました。宮城県、山梨県、岐阜県、広島県、愛媛県、鹿児島県から6名が農業土木担当として派遣され、災害査定業務に従事しました。災害査定は1班3名の2班体制で対応し、2週間に1回のペースで実施しました。現地調査（再確認含む）、平面図・構造図の作成、委託費・工事費の積上げ積算、査定設計書の作成と、一連の作業を行いました。

派遣満了が近づく9月21、22日に奥能登豪雨が発生したこともあり、帰県までの数日間は、豪雨災害被害の調査と飲雑用水浄水場の応急復旧業務に従事しました。

地震災害では農地にクラックが走り、豪雨災害では河川の氾濫により、農地が流出するなど、異なる農地被害を経験することとなりました。

既に地震災害として査定済み箇所の増破や、豪雨災害による査定箇所の増加という大きな課題を残したまま能登町を離れることとなったのは後ろ髪を引かれる思いでありました。



地震災害による被災状況



豪雨災害による被災状況

3. 最後に

3ヶ月間の派遣中に、地震災害の被災現場を目の当たりにし、豪雨災害直後の業務に従事しました。復旧工法等について査定班全員で話し合い、豪雨災害の応急対応について農林水産課総出で対処したことは、農業土木職員として貴重な経験となりました。また、派遣当初には能登町あばれ祭りに参加しました。開催中止の検討も行われましたが無事実施され、伝統文化を途切れさせないという、地域の熱い想いを体感しました。

公私共に多くの経験を積ませていただいた奥能登地域が一日も早い復興を遂げ、かつての日常を取り戻せることを心よりお祈り申し上げます。



能登町あばれ祭りへ派遣職員と参加

能登半島地震に係る中長期派遣を終えて

南予地方局農村整備課 菊地 雅浩

1. はじめに

令和6年10月～12月の3ヶ月間、能登半島地震の災害復旧事業支援のため、石川県奥能登農林総合事務所に赴任しました。奥能登農林総合事務所は輪島市三井町の能登さとやま空港事務所内にあり、能登半島北部の輪島市、珠洲市、能登町、穴水町の4市町を所管しています。

2. 業務について

担当業務は、石川県が輪島市から委託を受けた、暫定法に基づく防災重点ため池災害及び珠洲市、能登町における負担法に基づく農地海岸の災害査定に係る業務でした。

着任直前の9月21～22日に輪島市、珠洲市において観測史上最大となる雨量（輪島市412mm/日）を記録する奥能登豪雨が発生したこともあり、着任直後から日中は地震災害の増破調査や被災ため池のサイフォンによる水位低下作業等に明け暮れました。豪雨による被害は甚大で、現場に向かう道路はあらゆる箇所で寸断され、土石流により家屋が倒壊し、狭い谷地形部では道路や農地、河川の境界が消滅するほどでした。



サイフォンによる水位低下作業



谷地形部の被災状況

3. 災害査定について

災害査定は2週間に1回のペースで実施され、査定時の資料は「大規模災害時における農林水産業施設及び公共土木施設災害復旧事業査定方針」に基づき簡素化し、平面図はドローンにより撮影した航空写真を用いて作成、申請数量及び事業費は代表断面により算出しました。

また、ため池の底樋や海岸背後地の土砂崩壊による護岸等の調査不能な箇所は不可視部分として平面図に表示し、工事発注後に計画変更を行うこととして整理しました。

震災後復旧工事实施前に豪雨に見舞われ、地震災で査定済のため池等農業用施設が多数増破したため、年内の災害査定終了が危ぶまれましたが、農政局査定官との協議を経て、石川県職員・派遣職員が協力し、計画変更対応とするもの、再査定を受け豪雨災に転属させるものの仕分を行い、概ね12月中に査定を完了することができました。

4. 派遣期間を終えて

災害派遣を終え、今後愛媛県において大規模災害が発生した場合、特に有効であると感じたものは次のとおりです。

- ・ドローンの活用 大規模災害の簡素化設計において、航空写真を平面図の代用として使用
- ・災害情報記録・確認アプリ 被害報告において、現地にてスマホにより災害情報の登録ができるため、作業の効率化が図られる（石川県職員聞き取り）

- ・地図アプリの活用 ため池緊急点検等を円滑に行うため、地図アプリに管内ため池の位置及び台帳番号、名称をマーク

5. 最後に

派遣中は様々な被災現場を目の当たりにし、その復旧工法等についてチーム全員で話し合い、災害査定に対処したことは貴重な経験となりました。

様々な被災箇所の中で特に印象に残った光景は、能登半島北部における隆起した海岸で、隆起した高さは最大で約5mに達し、陸地部が沖に最大200m程度せり出していました。能登半島北部には伝統的な揚浜式の塩田が多数存在しますが、海水取水が困難となったことや豪雨による塩田への土砂流入により営業停止を余儀なくされています。

輪島市ではこの隆起した海岸を震災遺構として保存し、活用するため、サイクリングロードを整備する構想があるようです。また、能登半島の海岸沿いには国道249号があり、被災を受け通行止めとなっていました。昨年12月に珠洲市から輪島市の区間について隆起した海岸に仮応急道路を設置し1年ぶりに開通しました。この国道249号は「能登絶景街道」と呼ばれ、沿線には国の名勝であり世界農業遺産の一部にもなっている「白米千枚田」をはじめ様々な景勝地が存在しています。

輪島市、珠洲市では、一時避難等により、人口の約30%が流出しているということですが、奥能登地域の日も早い復興をお祈りするとともに、奥能登を再訪することでささやかではありますが支援の一助になりたいと考えています。みなさんも一度奥能登を訪れてみてはいかがでしょうか。



豪雨に伴う越水により決壊したため池



隆起した海岸



白米千枚田（地震、豪雨により被災）



能登さとやま空港

池田池の耐震対策について

—農村地域防災減災事業 池田地区—

愛媛県東予地方局農村整備課

1. はじめに

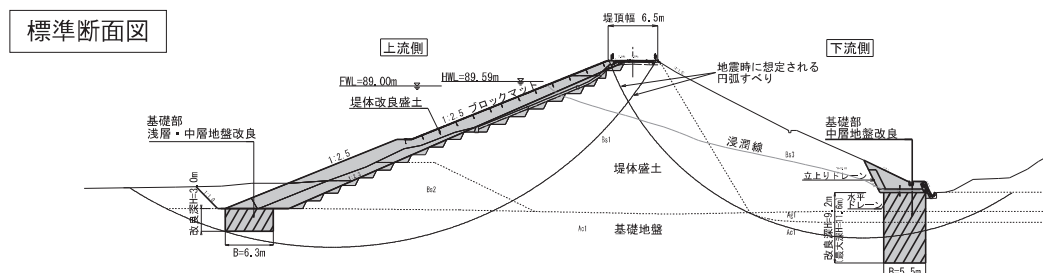
池田池は、新居浜市船木に位置する、貯水量125万 m^3 の県内最大級（県内第2位）のため池で、船木泉川（池田池）土地改良区の水源地であるばかりでなく、菖蒲園や芝生広場、児童広場などが整備され、ため池を囲む道路は、四季に咲く花々や木々がみられる絶好の散歩コースとなっており、市民に親しまれています。

県では、ため池などの重要施設の耐震診断を進めていますが、池田池は、耐震診断の結果、地震時に堤体の安全性が不足することが判明しました。新居浜市が作成したため池ハザードマップによると、池田池が決壊した場合、下流の被害面積は114ha、国道11号や船木小学校（避難所）の被害も想定されるなどその規模が大きい（被害額220億円）ことから、県では、南海トラフ地震級（レベル2地震動）を想定した耐震対策工を設計のうえ、平成28年度から工事に着手しました。

2. 耐震対策工事について

地震時の堤体盛土の円弧すべりを抑制するため、上流側は、基礎部の浅層・中層地盤改良と堤体の改良盛土、下流側は、基礎部の中層地盤改良を施工し、盛土材には、改良強度を確保するため、セメント系固化材を混合しました。また、下流側堤体内の水位が高いことから、法尻から地下水を排水するための立上りドレーンを設け、堤体内の水位の低下を図りました。

工事中は、堤体改良盛土の設計強度を確保するため、盛土材の含水比管理やセメント固化材を均等に混合する作業等に細心の注意を払って施工しました。



3. おわりに

工事は、昨年11月に完成しました。工事にあたり、新居浜市船木泉川（池田池）土地改良区並びに地元関係者、池田池公園管理者の方々のご理解とご協力に感謝申し上げます。



【上流側から撮影】



【改良盛土転圧状況（上流側）】



【地盤改良状況（下流側）】

Rs パネルを利用した張コンクリートの施工について

一般農道整備事業 「歌仙3期地区」

東予地方局今治支局農村整備課

1. はじめに

歌仙地区は、旧菊間町の中心部から南東方向に約3kmの山間部に位置する柑橘と畜産を中心とした複合農業地域です。

農作物等の輸送は県道や農道を經由し、選果場や市場へ出荷されていますが、輸送経路の道路は幅員が狭く、カーブが多いため、大型車両の離合が難しく、輸送に支障を来していました。このため、広域農道越智西部線の終点付近を起点に、菊間町松尾を經由し、河之内に至る約3kmの基幹農道（全幅7.0m）を新設して輸送の円滑化を図り、併せて、農業の近代化や農業経営の合理化を図ることとしています。

事業は、1期～3期に分けて実施しており、1期がH12～H22、2期がH19～R2、3期がH23～R7で、これまでに約1.8kmの区間が開通しています。現在3期の区間を施工中ですが、事業が長期化する中で、一刻も早い完成が期待されています。

2. Rs パネル工法

歌仙農道では複数件の工事を発注していますが、他工事の進捗に合わせての工事となる場合が多く、工期の延長を余儀なくされています。その反面、本格的に工事に着手した際には短時間で工事を行う必要があり、工程の短縮が課題となっていました。

そのような状況のなか、受注者から、山留張コンクリート工の予定箇所について、「Rs パネル工法」使用の提案がありました。

「Rs パネル工法」は国土交通省新技術情報提供システム（NETIS）にも登録されている（登録番号 SK-220007-A）工法で擁壁表面側から固定できるコンクリート製残存型枠を用いてコンクリート構造物を構築する工法で、工程の短縮が期待されます。

3. 現場での作業

Rs パネル工法は県内での取り扱いが少なく、パネルの製造に時間を要しましたが、歌仙農道の場合、他工事との調整期間があることや使用時期までに山切等の作業があることで、現場で必要な時期に入荷することができ



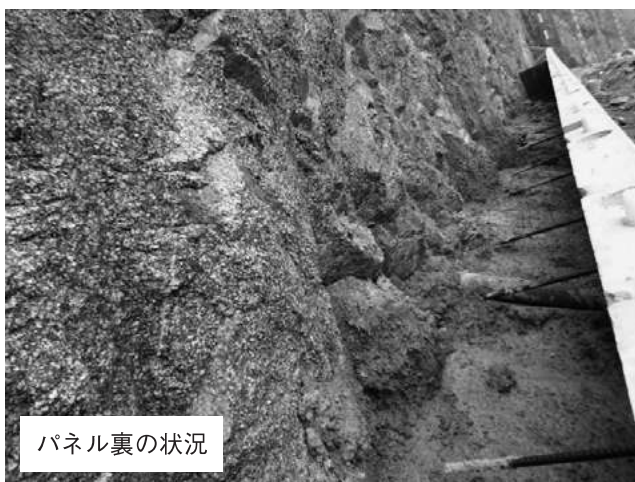
ました。現場での作業としては、床掘後、捨てコンを打ち、パネルの据付けを行い、パネル裏に生コンを打設、次の段のパネルを継ぎ足し、裏に生コンを打設の繰り返しの作業でした。

Rs パネルはパネル前面にパネル固定用のインサートが埋め込まれており、専用金具でパネルを連結することにより、容易に組み立てていけるので、専門業者等の下請けが不要で、経験のない元請け業者でも施工が可能でした。また、足場についても、パネルに直接、足場支柱が設置できることから、足場の設置解体も容易なものとなっていました。諸々の作業の省力化等もあり、工程を短縮することができました。

NETIS に登録されている情報によると経済性が低下（-20.12%）するが、工程は短縮（26.67%）するとなっています。

4. おわりに

歌仙農道は令和7年度完了に向けて工事を進めています。歌仙農道隣接地では、公共残土による造成も先が見える形となってきました。完成後は歌仙農道が地域農業の発展や集落の活性化に繋がる道となるよう期待しています。



農村地域住民活動意見交換会 ～農村型地域運営組織（農村 RMO）～の開催

令和7年2月18日、愛媛県水産会館において、県主催の「農村地域住民活動意見交換会」を初めて開催しました。

農村型地域運営組織（農村 RMO）とは、複数の集落がそれぞれを補完し合い、農用地保全活動や農業を核とした経済活動と併せて、生活支援など地域コミュニティの維持や活性化に取り組む組織のことで、令和6年10月時点で全国87地区が国庫補助事業である「農村 RMO モデル形成推進事業」を活用して、地域課題解決に向けた活動を実施しています。

今回の意見交換会では、県下10地域の関係者が参加し、現在同事業を活用している「奥松瀬川地区（東温市）」、「横林地区（西予市）」から活動事例を紹介したほか、参加者による意見交換を行い、農村 RMO 形成へ向けての課題や課題解決のヒント、新たなアイデアに触れるなど、地域間の交流を図りました。

県としては、今後市町等とも連携を図り、それぞれの地域で創出される新たな取り組みを後押しし、県下に波及させていきたいと考えております。

事業の詳細については県各地方局（支局）農村整備（第一）課にご相談ください。



◆農村型地域運営組織（農村 RMO）形成推進事業の内容

【農村 RMO モデル形成支援】

■事業内容

地域協議会等による地域の話し合いを通じた農用地保全、地域資源活用、生活支援に係る将来ビジョン策定、ビジョンに基づく調査、計画形成、実証事業等の仕組み、デジタル技術の導入・定着を推進する取り組みを支援する。

事業期間：上限3年間

交付率：定額（上限3,000万円（1,000万円（年基準額）×事業年数））

※地域計画連携タイプは年基準額12,000千円（R7～）



多面的機能支払交付金 活動事例紹介

～新たな活動にチャレンジする組織～



1. 組織の概要

今治南甲・北保全会は、今治市の旧朝倉村で活動する組織です。平成19年度から交付金活動を開始しており、現在活動を行う対象農用地は、水田80.8haと普通畑1.6haと農地の多くは、水田です。組織の活動としては、農地維持、資源向上（共同・長寿命化）のすべてに取り組んでいます。

2. 新たな活動を始める

活動組織では、「この地域のいいところを次の若い世代に繋げていきたい」との思いから令和5年度から新たな取り組みとして、植栽等の景観形成活動や、教育機関との連携活動（多面的機能の増進を図る活動）を始めました。広報活動では、朝倉支所発行の「あさくら便り」への掲載やFMラジオでの広報活動にも力を入れています。そんな中で特に楽しみにしている活動は、地元小学校と連携し実施している農業体験学習です。今年は、2019年に誕生した愛媛のブランド米「ひめの凜」の田植えから稲刈りまで行い、収穫したお米はとても美味しいと好評でした。また、小学校5、6年生を対象にしめ縄づくりも行いました。児童は「初めてでとても楽しかった。難しいことができてうれしかった」「去年は上手にできなかったけど、保全会の先生に教えてもらい、友達と協力して上手にできた」と嬉しそうに感想を伝えてくれました。

なお、この活動は、以下の項目に位置付けて活動をしています。

⑤7 やすらぎ・福祉及び教育機能の活用

⑥0 広報活動・農的関係人口の拡大（一部抜粋）

3. これからの活動について

代表の元岡さんは「この地域は、高齢者が多く、若い子たちと交流を行うことはとても楽しみ。これからも組織で話し合って計画を立てていきたい。今後は、農村の持つ多面的機能についても伝えていきたい」と語ってくれました。



朝倉紫陽花まつり 開催

6月23日(日)、梅雨空のもと、朝倉北集会所周辺で、今治市合併20周年記念事業として今治南甲・北保全会(代表:元岡忠行氏)主催による「朝倉紫陽花まつり」が開催されました。

来場者は約500株のアジサイが咲き誇る「アジサイロード」と呼ばれる農道沿いを歩き、色とりどりのアジサイを満喫しながら、気に入った花をはさみで切り取っていました。

また、小学生以下を対象にマスのつかみ取りも近くの水路で行われ、子どもたちは素早く逃げるマスを、歓声をあげながら懸命に追いかけっていました。

その他、保全会員が栽培した野菜の即売会、メダカや金魚のおもちゃすくいもあり、家族連れなど約400人で賑わい、楽しいひとときを過ごしました。



愛媛県土地改良事業団体連合会人事異動

(令和7年4月1日)

新 任		旧 任	氏 名
本 部	事務局長（兼総務部長）	南予事務所長（兼管理課長）	宇都宮栄治
	総務部次長（兼総務課長 兼管理換地課長）	総務部次長（総務担当）（兼総務課長）	喜安 学
	事業部長	事業部次長	高田 正樹
	事業部次長	東予事務所 副所長（兼事業課長）	坂本 雅志
	事業部 事業課長	事業部 事業課 ため池保全サポートセンター 室長	長瀬 勇紀
	事業部 事業課 ため池保全サポートセンター 室長	事業部 事業課 ため池保全サポートセンター 主幹	高橋 秀典
	事業部 事業課 ため池保全サポートセンター 主任	事業部 事業課 主任	高市将太郎
東予事務所	東予事務所 副所長（兼管理課長）	総務部次長（管理換地担当）（兼管理換地課長）	白石 勝晃
	東予事務所 事業課長	事業部 事業課長	水口 一也
南予事務所	南予事務所長	南予事務所 副所長	松本 修司
	南予事務所 管理課長	東予事務所 管理課長	長岡 利昌

退職者

(令和7年3月31日)

職 名	氏 名
事務局長（兼総務部長） ※4月1日付（嘱託再雇用：事務局 参事）	村上 誠
事業部長 ※4月1日付（嘱託再雇用：事業部 技術情報課 主幹）	玉田 雅浩

愛媛県農林水産部農地整備課関係人事異動（係長以上）

人事異動一覧表

(令和7年4月1日)

新 任			氏 名	旧 任
	農地整備課	技術監	宮内 真司	農林水産部 農業振興局 農地整備課 課長
		課長	白坂 浩二	東予地方局 農村整備課 課長
		主幹（兼務 換地指導専門員）	佐伯 新祐	農林水産部 農業振興局 農地整備課 主幹
		主幹	永田 静	中予地方局 農村整備第二課 主幹
		主幹	山本 秀明	農林水産部 農業振興局 農地整備課 計画調整グループ 担当係長
		副主幹（兼務 事業管理係長）	西山 俊実	消費生活センター 所長
		用地管理係長	松島 正	保健福祉部 健康増進課 精神保健係長
		計画調整グループ 担当係長	山下 剛至	南予地方局 農村整備課 農村整備グループ 担当係長
		農業水利係長	中村 泰士	今治支局 農村整備課 農村整備グループ 担当係長
		農地防災係長	松本 昭典	農林水産部 農政企画局 農政課 国土調査係長
東予地方局	農村整備課	課長	二神 理	中予地方局 農村整備第一課 課長
		主幹	田中 伸明	土木部 港湾海岸課 主幹
		指導整備グループ 担当係長【四国中央駐在】	三上 隆司	東予地方局 農村整備課 指導整備グループ 専門員
	企画調整室	主幹	山内 早苗	中予地方局 農村整備一課 企画調整室 主幹
		計画指導グループ 担当係長	河村 宜親	中予地方局 農村整備一課 主幹
		国営推進グループ 担当係長	鎌田 浩司	八幡浜支局 農村整備第二課 主幹
今治支局	農村整備課	課長	田尾 光章	農林水産部 農業振興局 農地整備課 主幹（兼務 換地指導専門員）
		主幹	小野 剛史	総務部 財産活用推進課 施設管理グループ 担当係長
		用地事業グループ 担当係長	中根 実	東予地方局 用地課 用地グループ 担当係長
		農村整備グループ 担当係長	中野 克彦	南予地方局 農村整備課 農村整備グループ 専門員
中予地方局	農村整備第一課	課長	渡部 善文	八幡浜支局 農村整備課第一課 課長
		主幹	沼田 修治	南予地方局 農村整備課 主幹
		主幹【久万高原駐在】	藤田 英俊	東予地方局 農村整備課 企画調整室 主幹
		副主幹（兼務 農村整備グループ 担当係長）	西村 洋司	今治支局 農村整備課 課長
		指導整備グループ 担当係長【久万高原駐在】	秋山 元洋	今治支局 農村整備課 農村整備グループ 担当係長
		室長	隅田 啓光	農林水産部 農業振興局 農地整備課 主幹
	企画調整室	主幹	中岡 利康	中予地方局 農村整備二課 総合整備グループ 担当係長
		主幹	重松 昌樹	八幡浜支局 農村整備第一課 主幹
	農村整備第二課	総合整備グループ 担当係長	三木 健義	八幡浜支局 農村整備第二課 南予用水グループ 担当係長
		総合整備グループ 担当係長	西嶋 一成	農林水産部 農業振興局 農地整備課 農地防災係長

新 任			氏 名	旧 任
南予地方局	農村整備課	主幹	本田 貴志	観光スポーツ文化部 文化振興課 文化施設係長
		主幹	犬伏 直也	東予地方局 農村整備課 計画指導グループ 担当係長
		農村整備グループ 担当係長	岡田 晃一	中予地方局 農村整備一課 計画指導グループ 担当係長
		農村整備グループ 担当係長	日下 知哉	八幡浜支局 農村整備第一課 農村整備グループ 担当係長
	企画調整室	主幹	笠崎 優介	中予地方局 農村整備第二課 総合整備グループ 担当係長
		計画指導グループ 担当係長	丸山 晃一	八幡浜支局 農村整備第二課 総合整備グループ 担当係長
八幡浜支局	農村整備第一課	課長	宮竹 良典	八幡浜支局 農村整備第二課 課長
		主幹	織田 千穂	南予地方局 農村整備課 農村整備グループ 担当係長
		団体指導グループ 担当係長	松木 文恵	八幡浜支局 農村整備第一課 農村整備グループ 専門員
	農村整備第二課	課長	中野 剛	中予地方局 農村整備一課 企画調整室 室長
		主幹	和田 亮二	農林水産部 農業振興局 農地整備課 農業水利係長
		南予用水グループ 担当係長	柴中 廣明	南予地方局 農村整備課 計画指導グループ 担当係長

退職者一覧表

旧 任	氏 名
農林水産部農業振興局 技術監	笠見 隆俊
中予地方局 農村整備第一課 主幹	門田 至正
東予地方局 農村整備課 企画調整室 副主幹 (兼務 国営推進グループ 担当係長)	岡田 真治
中予地方局 農村整備第一課 指導整備グループ 担当係長	大竹 一彦
八幡浜支局 農村整備第一課 農村整備グループ 担当係長	大野 栄二
八幡浜支局 農村整備第一課 団体指導グループ 担当係長	平野 貴司

お知らせ

土地改良施設維持・管理事業賠償責任保険のご案内
(施設賠償責任保険)

〈補償の概要〉

土地改良区が所有・使用または管理する土地改良施設の構造上の欠陥や記名被保険者の管理の不備、または施設内外で行われる施設の用法に伴う業務（農業用水の管理業務等）の遂行に起因して他人の身体・生命を害し対人事故、または財物を損壊したこと、対物事故により被保険者が法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害に対して保険金をお支払いします。ただし、補償の対象となる事故は保険期間中に日本国内において発生した事故に限ります。

〈保険期間〉

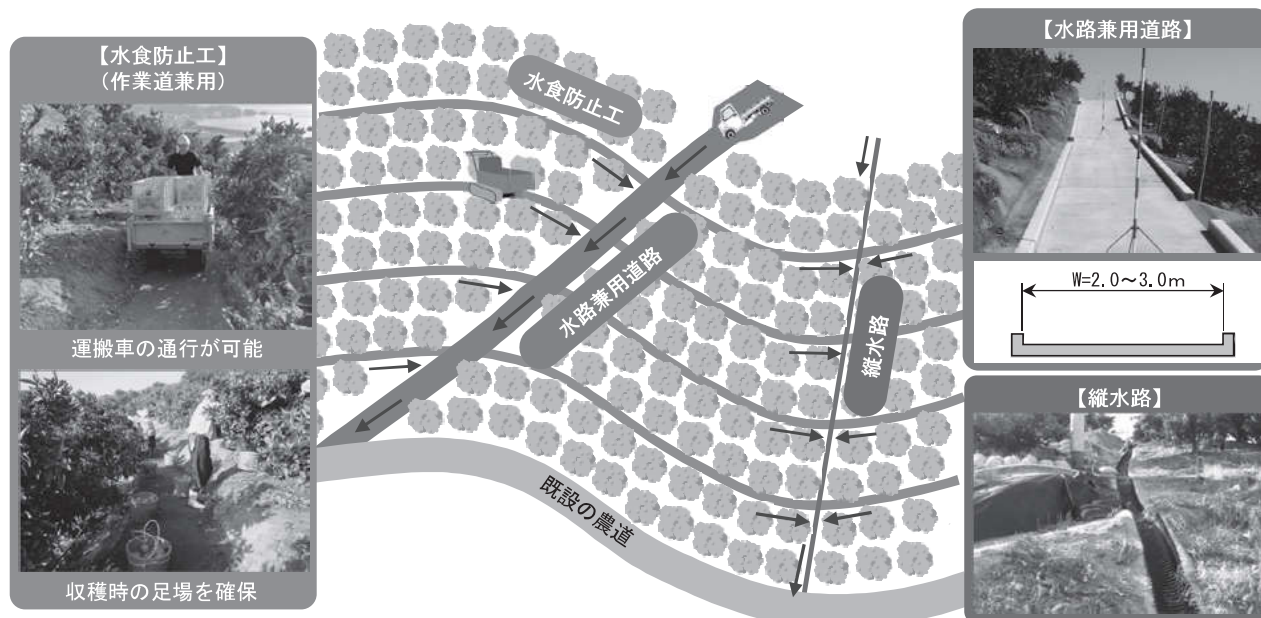
2026年4月1日午後4時から2027年4月1日午後4時までの1年間
(4月1日補償開始の締切は令和8年2月28日(土)となります。
保険料、補償内容等の詳しい内容については、以下の引受保険会社にお問い合わせをお願い
いたします。受付後、担当代理店からご連絡させていただきます。)

〈お問い合わせ先・見積依頼書の送付先〉

引受保険会社：東京海上日動火災保険株式会社
担 当 支 社：愛媛支店エリア振興チーム
(住所) 愛媛県松山市本町2丁目17 東京海上日動ビル
(TEL) 089-915-0077 (FAX) 050-3385-6239

あなたの園地を災害に強い園地に整備しませんか

傾斜園地の防災力と作業性の向上に向けた「より取り組みやすい小規模園地整備」を推進しています。



施設名	防災面での役割	営農面での役割
水食防止工（作業道兼用）	豪雨時に園地を流れる水を捕捉又は減勢	運搬車の通行、作業時の足場確保など
水路兼用道路	作業道で捕捉した水を園地外へ排水	軽トラック等の進入
縦排水路	作業道で捕捉した水を園地外へ排水	

水食防止工（排水機能を有する作業道）について

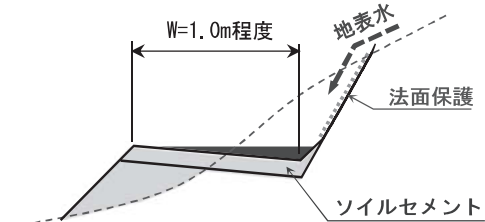
【配置計画】

- 等高線状に樹体2列おきを標準に樹体を極力伐採しないよう配置
- 水路兼用道路や縦水路（排水先）に向けて一定の排水勾配を確保



【構造】

- 農作業運搬車の通行や、流水による浸食等を考慮し、路面をソイルセメント（セメント混合土）等で補強



施工前



施工後

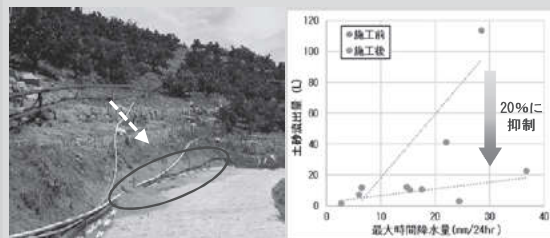


水食防止工の効果（災害に強い園地整備手法確立事業R4～R6による検証結果）

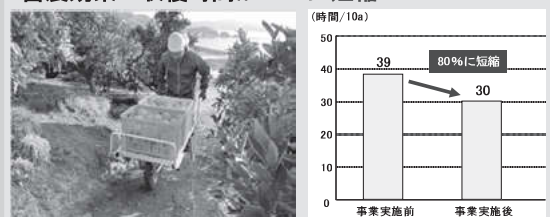
松山市興居島



防災効果…降雨時の表面土砂流出量を20%に抑制

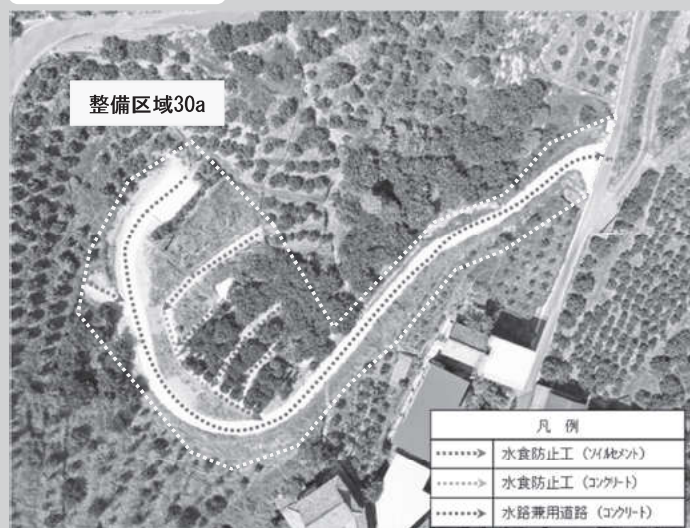


営農効果…収穫時間が80%に短縮

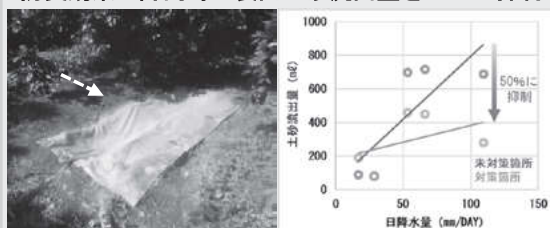


※収穫時間：果実の摘取り～軽トラへの積み込み

宇和島市白浦



防災効果…降雨時の表面土砂流出量を50%に抑制



営農効果…運搬時間が15%に短縮



※運搬時間：みかん15kg入りコンテナ3箱（計45kg）を21m運搬

活用できる国の補助事業

（例）畑作等促進整備事業

○実施するための要件

・事業費の合計が200万円以上

・受益農家が2者以上

・工事の期間が5年以内 など

○補助率：国55%（中山間地域）、県（未定）、市町（未定）



興味のある方は、下記最寄りの県担当課までお問い合わせください。

～ 県担当課 ～

東予地方局

中予地方局

南予地方局

農村整備課

農村整備第一課

農村整備課

企画調整室

企画調整室

企画調整室

西条市丹原町池田1611 (☎0898-68-7321)

松山市北持田132番地 (☎089-909-8765)

宇和島市天神町7番1号 (☎0895-28-6119)

ため池遠隔監視システムの運用開始について

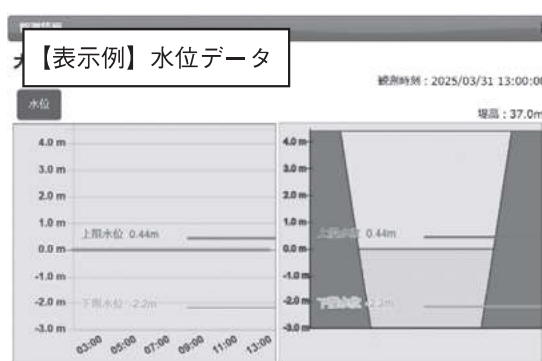
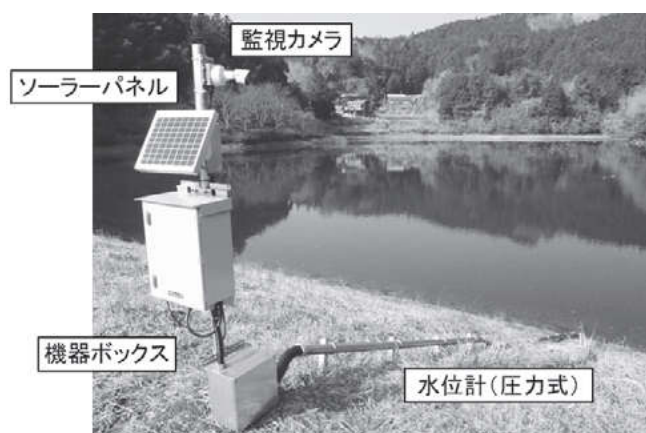
愛媛県では、ため池に水位計、監視カメラを設置し、豪雨時等の緊急時に行政職員、ため池管理者がインターネットを通じて遠隔でため池の状況を確認するほか、異常水位を検知した場合等には、あらかじめ登録しているパソコンや携帯にアラートメールを送信する「ため池遠隔監視システム」の整備を推進しています。

令和5年度から県内13か所のため池で機器を整備し、令和7年度から運用を開始しますのでお知らせします。今後は決壊した場合に人的被害が特に大きいため池や、現地確認に時間を要する山奥のため池などでの導入促進が図られるよう、市町を支援していきます。

(ため池遠隔監視システム整備ため池)

池田池（新居浜）、高麗池（今治市）、住居谷池、枝朶ノ下池、吉藤池（松山市）、大谷池（伊予市）、馬頭池（久万高原町）、上池（大洲市）、亀ヶ渚池（内子町）、関地池（西予市）、市越池（鬼北町）、奥田下池（松野町）、登尾池（愛南町）

■ため池遠隔監視システム



お知らせ

「愛媛のたなだん」フォトコンテスト2024入賞作品決定！

令和6年4月26日～11月10日に開催した「愛媛のたなだん」フォトコンテスト2024について、この度入賞作品が決定しました。最優秀賞には、田植え前の水面に青空が映る「静寂な水面の輝き」（撮影場所：井内の棚田）が選出されたほか、優秀賞2作品、各棚田賞12作品が選ばれました。

		撮影者（敬称略）
〈最優秀賞〉	『静寂な水面の輝き』（井内の棚田）	訪ね人
〈優秀賞〉人物賞	『田植え日和』（榎谷棚田）	やまびい
食べ物賞	該当なし	
生き物賞	『秋の気配』（堂の坂の棚田）	やまびい
〈各棚田賞〉千町の棚田賞	『郷愁を注ぐ往年の石垣棚田／その①』	訪ね人
天川の棚田賞	『いろ模様』	天川
井内の棚田賞	『秋晴れの井内の棚田』	ライダー
雨滝音田の棚田賞	『還暦祝い』	リンリン虎太郎
奥松瀬川の棚田賞	『秋晴れの奥松瀬川の棚田』	ライダー
上林の棚田賞	『田植え終わって』	けしきすき
下林の棚田賞	『青空とコスモスと下林の棚田』	フレディ
榎谷棚田賞	『棚田で見た夕焼け』	すず
稲積棚田賞	『冠雪の稲積棚田』	ま～も(*'▽')♪
堂の坂の棚田賞	『緑夏』	ピロリン
泉谷賞	『棚田の夕焼け』	おとうさん
奥内の棚田賞	『たんぼってきもちいい』	たかびろ



最優秀賞
『静寂な水面の輝き』（井内の棚田）



優秀賞（人物賞）
『田植え日和』（榎谷棚田）



優秀賞（生き物賞）
『秋の気配』（堂の坂の棚田）

この他入賞作品についてはHP「愛媛のたなだん」をご覧ください。

◆「愛媛のたなだん」フォトコンテスト2025 作品募集中◆



【募集期間】 令和7年11月10日（月）まで
（令和6年11月11日以降に撮影した写真が対象です）
ぜひご応募ください♪

詳しくはコチラ ⇒ URL: <https://ehime-tanadan.jp>



第31回 農業農村整備事業 写真コンテスト 入選作品の紹介



佳作「はだか麦と夕日」

撮影場所：西条市

撮影者：谷口 正弘



佳作「朝陽の恵みと緑の息吹」

撮影場所：西宇和郡伊方町二見（亀ヶ池）

撮影者：藤田 篤史



特別賞「わらしシ」

撮影場所：今治市玉川町鈍川

撮影者：谷川 恵美

水土里ネット愛媛



豊かな農村環境を保全する



愛媛県土地改良事業団体連合会

本部 松山市愛光町1番24号（県土連ビル）
Tel (089) 927-7000(代表) Fax (089) 927-7001
ホームページ <http://www.ehimedoren.or.jp>

東予事務所 西条市壬生川111番地1
Tel (0898) 76-7255(代表) Fax (0898) 76-7257

南予事務所 西予市宇和町卯之町3丁目434番地1
Tel (0894) 62-7522(代表) Fax (0894) 62-7525

